

第4節 地域に出て磨き合う人権感覚

4-1【実践4】「やすらぎ喫茶」～老人保健施設へのボランティア活動～

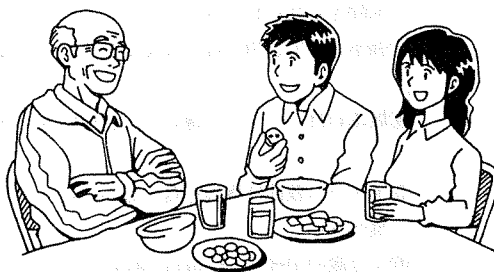
C高校の実践

「このゼリーも手作りかね？うまいもんだ。」

「ちょうどよい柔らかさですか？初めて作ったので難しかったです。」

1 はじまり

平成8年、生徒会が学校の文化祭においてコンサートを実現するためにバザーを行いました。バザーによる収益金が余ったので、その使い道として地域への還元をしたいと考え、ボランティア活動を行うことになりました。



2 「やすらぎ喫茶」を始める～平成9年3月～

毎月1回、土曜日の3時のおやつの時間に、自分たちだけで焼いた手作りお菓子と飲み物をもってS中央病院「やすらぎの丘」へ出かけます。この老人施設に入所したり、デイサービスを利用している高齢者と生徒達がコーヒー、紅茶、日本茶、ジュース等やお菓子のサービスをしながら、交流する活動を始めました。

3 生徒会主催の活動へ～平成10年度から～

生徒会本部、ボランティアクラブ、有志により、年間7回ボランティア交流を行いました。5月には吹奏楽部の演奏会によるボランティアも行われました。

平成11年度は、月1回実施しています。

4 生徒の感想

◇ 私がはじめてこの活動に参加したとき、お年寄りと席を共にすることにかかなりの違和感を感じました。お年寄りにお茶やお菓子を出した後、どうすればいいのかわからず途方に暮れることもありました。しかし、お年寄りと接する時間が長くなればなるほど、親近感というものが生まれるのを肌で感じるようになりました。私は、いっしょにいただけでも喜んでくれるお年寄りのそばにいと、自分の心もどことなく洗われるように感じました。ボランティア活動は自分の心を磨くことのできるよい機会だと思っています。(3年生徒)

◇ 入居しているお年寄りの人たちはみんな個性があつて楽しかったですが、注文を取るときなかなか大変でした。学んだことは、お年寄りとどう接したらよいかということと、お年寄りの好きな食べ物はどんなものかということです。この活動に参加して本当に良かったです。(1年生徒)

やすらぎ喫茶とは

生徒会

◇目的は…

生徒会では、地域との交流を盛んにすることを目的に、ボランティア活動に取り組んでいます。そこには、思いやりの心やボランティア意識をみんなが持つことによって、いじめや暴力のない誰にとっても居心地のいい C 高を作りたいという願いも込められています。

◇どこで…

具体的には、S 中央病院の「やすらぎの丘」でのボランティア活動がその中心です。「やすらぎの丘」は、お年寄りの生活の自立を助け、家庭への復帰を目指す施設です。車椅子の人が多く、痴呆の進んでいる人も若干います。入所は3カ月程度を目安にしていますが、14日以内の短期入所（ショートステイ）や昼間だけの通所（デイケア）の人もあります。

◇どんなことを…

活動内容は、月に一回、土曜日の午後（2時から4時ぐらいまで）に、飲み物や手作りお菓子を用意して行って、おやつサービスをしながら交流することです。お菓子作りは、前日の金曜日の放課後に、学校の調理室で作ります。お年寄りの好きなあんこものや、のどにつかえない柔らかいものを工夫しています。

◇いずれは…

参加者は今のところ生徒会役員、ボランティアクラブの人を中心に20名弱くらいですが、いずれはもっと多くの C 高生が気軽に参加できるものになりたいと思っています。また、身体障害、知的障害の施設にも活動の範囲を広げることができたらと思っています。

◇こんな人はぜひ…

ボランティア活動に興味がある人、福祉・医療・看護系の進路を考えている人はぜひ一度参加してみてください。部活に所属している人も、これは部活動とは別ですので、参加できる日に、気軽に参加してみてください。金曜日のお菓子作りだけの参加も大歓迎です。

多くの C 高生の積極的な参加をお待ちしています。